

冬も本番です。
体調を崩さないように
作業しましょう。

県西農林事務所 経営・普及部門
(筑西地域農業改良普及センター)
発行
電話番号：0296(24)9206
FAX：0296(24)6979



筑西地域農業改良普及センターHPへアクセス！↑

アグリ筑西

令和7年度 冬号

シリーズ「農業経営者に訊く」 Vol.12

有限会社山善農園 代表取締役
杉山 善昭 さん（筑西市 水稻＋麦＋大豆＋ソバ経営）



杉山代表（中央）と従業員の皆様

筑西市で大規模普通作経営を営む杉山さんは、実需者に喜ばれる商品づくりと効率的な経営の両立を目指し、大型農業機械やスマート農機等を活用した農業を展開されています。



小麦の赤かび病防除

- ・直進アシスト機能を備えた大型ハイクリブームの活用
- ・実需者に安全な小麦を届けられるよう3回防除を実施

●経営の概要について教えてください。

水稻、麦、大豆、ソバを組み合わせた大規模普通作経営（延べ174ha）を行っています。

地域で取り組むブロックローテーションを最大限に活かせるよう、「作物ごとではなく一つの輪作体系」としての栽培管理に取り組み、総合的な収益の最大化を目指しています。

●今後の目標について教えてください。

直近の目標は、気候変動などの状況変化に対応した栽培・生産（新品種の導入や栽培手法の試験など）をしたいと考えています。

もう少し長い目で見ると、作付ほ場の集積・集約で作業効率を上げていきたいと考えています。最終的には、地域全体が効率的な営農を実現できるよう、努力していきたいと考えています。

●経営方針について教えてください。

生産性の高い農業の実現のため、特に「人材」を意識しています。これからの人材獲得は他産業との争奪戦であると考えています。そこで、従業員が安心して働き続けられる職場を目指し、一般的なサラリーマンと同等の給与レベルと労働条件を整備することで、30代の基幹従業員を中心に、8名を常時雇用しています。

貴重なご意見を聞かせいただきありがとうございました。これからも農業経営者として地域を牽引されることをご期待いたします。

管内の動き

農業三士活動研究会で情報交換

令和7年11月26日に筑西地域の農業経営士・女性農業士・青年農業士が、「農業三士活動研究会」を開催しました。

第一部の現地研修会では、女性農業士のコマツナハウスを見学し、栽培管理や雇用管理について質疑を交えながら丁寧な説明を受けました。

第二部の情報交換会では、農業三士それぞれの活動状況を情報共有するとともに、地域農業課題などについて活発な意見交換が行われました。



農業三士活動研究会現地検討会

新農業人フェアinいばらき2025

令和7年12月13日、つくば市の会場で農業に興味のある方を対象とした相談会「新農業人フェアinいばらき2025」が開催され、県内外から多くの方が来場しました。

当普及センターは関係機関と連携して出展し、筑西地域の農業紹介や就農に向けたアドバイス等を行いました。

さらに管内からは5団体の出展があり、ブース来訪者へ経営概況・雇用条件・研修受入などの情報が提供されました。



新農業人フェア相談会

抑制トマト高温対策技術を産地で共有

令和7年12月23日にJA北つくば東部とまと選果場部会は、抑制トマト高温対策技術等を共有する報告会を開催しました。当日はトマト生産者約30名と地域の農業資材販売店担当者も参加し、産地全体で部会の試験結果を共有しました。

普及センターからは、屋根散水等による高温対策や品種比較試験結果、コナジラミ類発生状況調査結果や対策技術について報告を行いました。

今後も生産者・販売店・関係機関が一体となり、生産性向上に向けた取り組みが期待されます。



トマト高温対策技術報告会

お知らせ

1～3月に活用できる農業技術対策

農業総合センターHPに掲載されていますので、ご活用ください。

- ・降雪に対する技術対策
- ・茨城県農業用ハウス災害被害防止マニュアル
- ・スマート農業導入の手引き
- ・生産資材費高騰に対する技術支援マニュアル
- ・春先の気温変化に対する農作物管理について
- ・果樹類の晩霜・低温対策について

